

後志

SHIRIBESHI

ボウリング部6月例会

日時：平成26年6月10日 午後8時00分より
場所：岩内ファミリーボウル

本例会は、伊藤が監修のもと、高級梅干しとお漬物を賞品とした大会であった。今回は岡崎先生が優勝した。準優勝は1、2ゲームトータル400をたたき出した中川先生であったが、決勝戦で体力の限界を迎え、準優勝に甘んじた。(伊藤 純記)



全道野球大会観戦記(Bチーム)

日時：平成26年6月14日 午前10時00分より
場所：札幌市 美香保公園球場
大会前夜は焼き肉味覚園にて決起集会を催

し、一週間ほど続く雨の為に誰も試合があるとは考えておらず、みなハメを外していた。しかし、次の日は奇跡的に雨が止み、無事に大会が開催された。1試合目は函館Bチームと対戦し12対7で敗退。2試合目は室蘭Bチームと対戦し14対15でサヨナラ勝ちを収めました。その後の懇親会では一勝し喜びと日曜日はフリーだという開放感からお酒も進み楽しい夜を過ごしました。残念なのは西崎先生が肉離れを起こして負傷してしまったことです。(土方敬久記)



全道野球大会観戦記(Aチーム)

日時：平成26年6月14日 午前10時00分より
場所：札幌市 稲積公園球場
この数日間北海道は雨続き。大会前日も雨。天気予報も雨。壮行会の焼き肉屋はただの飲み会と化し、みな懇親会までの時間つぶしを考えていた。が、当日朝6時に結局中止の知らせ



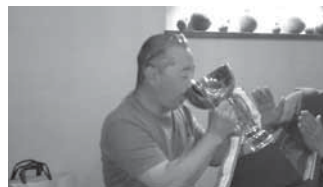
は来ず、大会中止の中止を選手たちへ伝えた。第一試合、対旭川A。健闘むなしく1点のリードを4回に大量失点で返され、敗戦となった。第2試合、対空知A。11対2で快勝した。今大会のお宝発見は、五十嵐先生。今後の主力となりそうである。もっと持ち上げて、次期マネージャーとしても期待したい。来年も、みんなが元気で楽しめる大会となりますようにと、てるてる坊主をそっと片付けた。(茂尾公晴記) 幼稚園ブラッシング指導

日時：平成26年6月17日 午前11時30分より
場所：倶知安町 めくみ幼稚園
川端琢磨先生、伊藤 純 先生および私 中川の歯科医師3名と、各医院からのスタッフ合計8名、総勢11名が上記幼稚園に向向き、ブラッシング指導を行った。園児70名に対して約30分間のにぎやかな指導となったが、みな楽しく歯みがきをまねしていた。(中川 徹記)



後志デンタルゴルフ キシロカッパ

日時：平成26年6月28日 午前7時00分より
場所：リバーウッドゴルフコース
北海道の爽やかな初夏の中、稀代先生を偲んでのゴルフとなった。野球大会で名誉の負傷(?)を負った西崎が不戦敗となった。一回戦不戦勝の柏谷が2回戦で土方をあっという間に撃破し決勝へと残った。しかし、体力の限界を感じ決勝は棄権となり、中川の優勝が決まり、その高笑い喜ば別山の山々に響き渡った。(綜合哲哉記)



苦小牧

TOMAKOMAI

北海道歯科医師野球連盟並びに懇親会

日時：平成26年6月14日(土曜日) 18:00～
場所：ロイトン札幌

当歯会加藤(清)会長はじめ応援、野球部員、金丸順太郎先生も御参加いただき23名が出席した。選手表彰では、豊巻先生が35年表彰、石澤先生が20年表彰で賞状と記念品が授与された。石澤先生は現在、選手として



て以外でも野球部総監督として技術面から戦術面の指導まで野球部のすべてを担われており、石澤先生に野球を教えていただいた野球部員も多数存在する。豊巻先生の35年表彰は、毎年主力選手として試合に出場し現役選手としての35年という事で、野球部員一同ここから尊敬の念にあたいする表彰であり、野球部に参加していただき若い部員たちとも交流していただけることへの感謝とともに、拍手と歓声が起こった。豊巻先生、石澤先生には、今後とも当歯会野球部において活躍されることを期待し、また、絶大なご協力をお願いしたい。(高松 謙記)

野球大会観戦記

苦小牧Bチーム(Cゾーン)

平成26年度の苦小牧歯科医師会野球部の練習はいつも少し違っていた。練習に参加するメンバーはいつもいわゆるAチームに所属する選手が多かった。しかし今年はBチームの選

手の方が逆に多い日がある程Bチームの選手の戦意は高かった(言い過ぎかも知れないが)、大会前日の夜に行われた決起集会でも今年のBチームは「勝てるかも」という声が聞こえていた。第一試合の開始直前に木村Bチーム監督、鈴木Bチームキャプテンからそれぞれお言葉を送った。だきつもはここで終わりのだが今年にはもう一人、選手の円陣の中から口を開いた。佐賀選手が「最後に私から戦術面でお話しを」といつとも違う全くもって超戦闘モードな雰囲気中で我々にアドバイスをした。「今年はなんか違うんじゃない?」ってモロに感じた。その予感的中した。5回まで相手に点を取られたら苦小牧も取り返すという我々らしくない好ゲームを繰り広げ5回の表が終了時点で空知Bが9点、苦小牧Bチームが8点と1点差!いつもなら10点20点取られていてもおかしくないのに熊澤選手の好投と金本選手の好捕手により射程圏内!5回の裏、苦小牧Bチームの攻撃は

なんとなんと今井選手のヒットにより10対9でサヨナラ勝ちをおさめた。この勢いそのまま千歳Bチームにはあるう事が12対2で4回コールド勝ち!この時点で夢にまで見た2日目に残り準決勝は札幌Eチーム。このチームとは以前も対戦したことがあり散々負け方をしていたのですが各選手とも全員安打打点を重ね熊澤投手の3連投をしているとは思えないピッチングと堅い内外野の守りで、何と10対8で勝ってしま!決勝戦へ!決勝戦は惜しくも17対8で函館Bチームに敗れるもここまでやっただけ来られたらもう悔いは無いという感じで、各選手大満足の今大会のようでした。(鶴野慶治記)



函館

HAKODATE

北海道歯科医師野球大会

日時：平成26年6月14日 15日
「函館Bチーム Cゾーン完全優勝!」
「函館Aチーム Aゾーン残留決定!」

過去に例のないほどの練習量をこなした順調な仕上がりをみせていた「函館チーム」だったが、大会1週間前に田中賢司投手が肺炎を発症。また、川瀬 敬 選手の腰椎分離症が発覚。不安要素を残したままでの参加となった。

夢の円山球場での開会式。さすがの円山!前日の大雨の影響を全く感じさせない素晴らしいコンディション。各チームが堂々の入場行進!開会式終了後バスへ乗り込み試合会場へ移動。Cゾーンは予選2位までが翌日の準決勝へ進

める変則トーナメント方式。1試合目の相手は「後志B」。函館Bは北田秀昭投手が先発し緊張感のある中試合は始まった。初回から点数の取り合い。3回終了時点で12対7の函館リード。4回表、エース渡辺投手の力投で0点に抑えゲームセット。まずは1勝!ほっと一息...

2試合目の相手は「札幌E」。好調を続けていた北田投手だったが急に「ストライク入らない病」が発症。8点を失う。なんと!札幌Eの投手に「ストライク入らない病」が感染。満塁でまわってきたのは出発前夜にノックインセンターで最後の仕上げをしてきた中野敬昭選手。左中間真つ二!走者一掃のツーベースヒット!勝負あり!11点を取り逆転勝利!

そのころ、「函館A」は麻生球場で札幌Dとの初戦。体調が心配されていた田中投手だったが室井寿夫捕手の好リードにより10対5で勝利し、まずは1勝。

2試合目の相手は因縁の「十勝A」。過去に何度となく戦い「手の内」が分かり合っているだけにやりづら相手。カーブを狙い撃ちされるが、レフト油川英馬選手のファインプレーなど随所で好プレーを見せ、球場を沸かせた。1点差まで追いついたが、最終回にダメを押され、無念の敗北。1勝1敗。Aゾーン残留決定!リベンジを誓い早速練習課題をメモしていた金井敬行総監督。(来季の練習が恐ろしいことにならないことを祈るばかりだ。笑)

翌日、全身筋肉痛の中での準決勝。相手チームは旭川C。首位打者に輝いた澤木 淳選手の全打席2ベースヒットや川村耀輔選手の3ベースヒット、磯部睦夫キャプテンのタイムリーなどで23点を取る。守っては優秀選手に輝いた木葉 篤選手ファインプレーの連続などがあり見事に勝利。決勝戦!相手チームは「苦小牧B」。予選から好調の函館打線は決勝でも健在!齋藤 淳選手



の目の覚めるような打球、俊足を生かした伊藤正明選手の好走塁。1点がほしい場面での三ツ石 信 選手のトリックプレー、加茂勝巳選手の初打点、あわやホームランだった私(向山)の助射が!イッツゴーズなど、全員満球で見事に勝利!阿彦 監督を胴上げし大満足の選手たち。

先日行われた「優勝祝賀会」では、最初から最後まで笑顔が絶えず、永坂 信 部長はじめ部員一同、来年の室蘭大会でのアベック優勝を誓い妻の幕は閉じたのであった。(向山英明記)

美唄

BIBAI

平成26年度定時総会

日時：H26年6月18日 18時30分より
場所：ホテルスエヒロ

一般社団法人移行後をはじめの決算を承認する総会が開催された。

孫会長あいさつ後、H25年度の事業報告等、H26年度の事業計画、収支予算について、すでに3月の理事会で決定している内容を報告。又、公益法人支出計画実施報告書についても報告があった。

議決事項として、H25年度の会計収支決算書に関する件並びに貸借対照表等について、又、監査報告について承認された。

旅費規則について修正案が出され、旅費支



給の際には、会議内容の報告と資料提供の義務を明文化した。

その他本年度行事と各種事業について確認しあうと共に、当番幹事としての道央北ブロック役員連絡協議会とデンタルタウンミ・ティングについて協議した。

引き続き行われた、政支支部総会においては会費制の導入が議論され、来年4月より実施され、政支規約にその旨をうたい整備することとした。

衆議院議員渡辺孝一先生、道議会議員柿

木克弘先生、美唄市長の高橋幹夫先生を支持母体としていただくという名誉に浴しており、さらに一層の活動を行なえるよう対応したものである。(小森英世記)

美唄市三師会講演会

日時：6月28日 13:00より
場所：コア美唄 市民ふれあいサロン
演題：「むし歯じゃないのになぜしみる? 象牙質知覚過敏症とその治療法」

第52回美唄市三師会講演会において象牙質知覚過敏症をテーマに私、滑川貴彦が講演した。

超高齢化社会の現在、健康寿命の延伸に伴い新たな生活習慣病として認識されるTooth wear。その一症状としての象牙質知覚過敏症の発生のメカニズムと治療法を中心に説明を行った。

とりわけ今回は、日常生活に潜むリスクや

家庭での予防法(効果的なブラッシング法、歯磨材の選択と使用法のポイント、酸性飲食物の摂取時の注意点など)から、健康に良いと思われていることが歯には優しくない事例などに重点をおいて説明を行いました。

最後にホームケアに加えて自分の口腔内をしっかりと把握しているかがりつけ歯科医を持ち、継続的に管理してもらおうとの重要性を述べた。(滑川貴彦記)

